

令和4年度第2回荒川区環境審議会書面会議意見等まとめ

1 開催日時

令和5年1月16日（月）から1月24日（火）まで

2 議事

- 1 「荒川区地球温暖化対策推進条例（案）」に対するパブリックコメントの実施結果及び同条例（案）について
- 2 「荒川区地球温暖化対策実行計画（案）」に対するパブリックコメントの実施結果及び同計画（案）について
- 3 今後の区の環境施策に関するご意見等について

3 書面会議結果

議事に対する意見等の概要及び意見等に対する区の考え方・対応

No.	意見の概要	意見に関する区の考え方・対応
議事1 「荒川区地球温暖化対策推進条例（案）」に対するパブリックコメントの実施結果及び同条例（案）について<1件>		
1	条例などは作って終わりではなく、その後の周知・PRが重要である。	条例の趣旨等を区民の皆様に分かりやすくお知らせするパンフレット等を作成し、様々な機会・媒体を通じてPRしてまいります。
議事2 「荒川区地球温暖化対策実行計画（案）」に対するパブリックコメントの実施結果及び同計画（案）について<6件>		
1	行政がどのような目標を立てて、何を実行していくかを区民に知らせること、また、行政の活動の成果・取組を区民に示していくことは大変重要なことであり、今後、温暖化対策協議会で報告するなどを是非行って欲しい。	温室効果ガス排出量の数値と併せて、森林整備に関するイベントの参加者数やシェアサイクルの利用者数など温暖化対策に資する取組の実績を、地球温暖化対策協議会や環境審議会でご報告してまいります。
2	アクションプランについて、多くの関係者に周知啓発し、荒川区と区民が一体となって取組を進めることが必要不可欠である。	区民の皆様にご自身のご自身のごこととして感じとって取り組んでいただけるよう、様々な機会・媒体を通じて、分かりやすく周知・啓発を進めてまいります。
3	【清原委員】若い世代（18歳～40歳代）に危機感を伝え、環境活動の参加を促してほしい。そのためにも夜間や土日のエコ（環境）リーダー養成講座を開催し、次世代のリーダーを育成する必要があると感じています。	区ではこれまで、小学生を対象としたエコジュニアクラブを創設するなど、子どもたちの環境意識の向上を図ってまいりました。また、今年度からは、交流都市等と連携した森林整備に関するイベントを開催し、若い世代の方にも数多くご参加いただき、地球温暖化問題について理解を深めていただきました。今後は、開催日時等も工夫しながら、このような事業をさらに拡充し、若い世代への啓発に注力してまいります。
4	東京都による太陽光発電設備等の設置義務化を受けた区の対応として、PRも兼ねて、南千住のポンプ所などに太陽光パネルを大量に設置することも検討してはどうか。	再生可能エネルギーの供給量を増やすことは、東京都としても重要な施策の一つとなっておりますので、ご意見を東京都にも伝えてまいります。
5	学校にシェアサイクルを設置することで、教師等の通勤による利用の増加が見込まれると思うので、ご検討いただきたい。	いただいたご意見を踏まえ、教育委員会とも意見交換を進めてまいります。

6	<p>【高田副会長】区の住宅の7割が集合住宅であるため、各集合住宅に電気自動車の充電ポートが設置されると、かなりの数の充電ポートが区内に整備されることになる。一方、設置されたポートは、その集合住宅の居住者しか使用できないので、それでは電気自動車の普及が進まないで、居住者以外にもポートを開放してもらうことも考えていく必要があるのではないか。</p>	<p>集合住宅に設置された充電ポートの居住者以外への開放については、ご意見を東京都に伝えるとともに、国の動向も踏まえながら今後調査してまいります。</p>
---	--	---

No.	意見の概要	意見に関する区の考え方・対応
<p>議事3 今後の区の環境施策に関するご意見等について< 2件 ></p>		
1	<p>環境に熱意のある人材を発掘し、世代交代を進めてほしい。</p>	<p>若い世代の方にも参加していただけるような事業を企画・開催し、区の環境施策に協力・行動していただける方を増やしていけるように努めてまいります。</p>
2	<p>計画、条例とも様々な意見が集約され、よくまとまっていると思う。</p>	<p>今回の計画や条例を、ご自身のこととして感じとっていただけるよう、様々な機会・媒体を通じて、区民の皆様に分かりやすく周知・啓発を進めてまいります。</p>